







編集発行/いみず野農業協同組合 総務課 富山県射水市北野 1555-1 TEL 0766(52)0023 FAX 0766(52)5955 JAホームページ http://www.ja-imizuno.or.jp/ JAいみず野 検索。

9議案を原案通り承認

より開会された。

代348名、書面議決による出席 124名の合計472名の出席に 化ホールラポールで本人出席の総 (土)午後2時より射水市小杉文 通常総代会が、平成29年5月27日 いみず野農業協同組合の第17回



▲水元 睦雄組合長

む重要な年になると強調した。

28年度の実績としては、

初め

されるJAを目指していくと決意 きたと報告、今後とも皆様に信頼 県下トップクラスの成績を確保で 待に応えて頂くよう活躍を願っ べ、来賓各位には射水市が魅力あ 各位に多忙の中の出席に礼を述 を述べた。 た。決算は、皆様のご協力により る都市として発展を願う市民の期 開会に際し、水元組合長が総代

生産の拡大」「地域の活性化」に 行い「農業者の所得増大」「農業 としてもこれまでの取組の検証を 情勢は更に厳しく、JAグループ 量目標の配分が廃止決定されるな 平成30年から行政による生産数 農業改革に加え農業をめぐる 自己改革の実践に取り組

> ど、品質・量ともに高い評価を受 生産推進大会では、最高賞である 射水市が北陸三県トップとなるな トップクラス、単収も3年連続で 散布の実施、1等米比率が県下で 延べ面積約2、250haの農薬 と報告した。 け、県の「ほおばる幸せ、富山米 て導入したラジコンヘリによる 高品質部門で県知事賞を受賞した

者の一層のサービス向上に努める 説明した。今後とも組合員・利用 更なる品質向上を目指していると 月に「富山ブラック」と言う名称 を整備し「いみず野産農産物」の から包装・袋詰め作業を行う施設 で取り組んでいる枝豆は昨年十一 とし、慎重審議を願い挨拶とした。 で商標登録を行い、二月には選別 また、「一億円産地づくり事業

通 常 総 代 会 付 議 議 案

第1号議案 第17年度 金処分案承認の件 事業報告及び剰余

報告事項 書の件 第17年度 計算書、 注記表及び附属明細 貸借対照表、 損益

第17年度 部門別損益計算書

第3号議案 第2号議案 第18年度における固定資産取 第18年度 得処分に関する件 事業計画設定の件

第4号議案 全国農業協同組合連合会が行う 農業経営事業に関する同意に

第5号議案 地域農業振興計画設定の件 成29年~31年

第6号議案 地域バイオマス利活用推進事業

第7号議案 理事1名選任の件 の実施について

第8号議案 第18年度における理事の報酬に 関する件

第9号議案 第18年度における監事の報酬に 関する件

別 決 議 JAグループの自己改革の実践 に関する特別決議

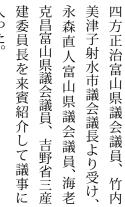
特

来

睿 祝

辞

来賓祝辞を夏野元志射水市





▲竹内美津子市議会議長





▲夏野 元志射水市長

議長選出・ 議事 ·特別決議

当局説明の9議案を慎重審議の上 業振興計画、理事1名選任の件等、 第17年度の事業報告・剰余金処分 選出した。門田議長の進行により、 案や第18年度の事業計画、 承認した。 小 二口地区の総代、 川副組合長が議長選任を諮 門田晋氏を 地域農

議(案)」を、 業本部長が力強く決意表明し、 れた夏野邦昭JAいみず野理事事 の自己改革の実現に関する特別決 特別決議として「JAグループ 致の拍手により採択された。 第7号議案で承認さ 満



▲議事進行を務める門田 晋 議長

新 たに 理事



議案説明をする 塚本 清専務



▲小川 秀明副組合長

表

理

事会

化を図ることを改めて確認した。 事就任が承認された。 化に向けJA自己改革の取組み強 兼務理事として夏野 たことにより全区を代表する職員 役員選任投票が行われ、 事事業本部長に就任することが決 定款に定める2分の1以上に達し その後の定例役員会で常勤 新たに理事1名を選任するため 農業所得の増大や地域の活性 1名の選任 邦昭氏の 賛成票が 0) 理

表

監

副組合長理事 代表理事組合長 事事業本部長 事 事 事 事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事

坂清田川朽牧田犀田角金片西高笹中森尚河川臍土稲源島浦夏塚澁小水夏 本水所野木野邉藤中谷森口野橋木井 和岸東嶋合垣 倉元野本谷川元野 久康秋美宗光和博賢憲敏俊清芳茂茂正朝春文康邦 浩裕義 忠秀睦元 二之治修寬雄弘美憲一重美信治治男治信美幸夫夫夫夫則夫昭清雄明雄秀 役

員

名

簿

いみず野だより

第17年度 業務のご報告

(1) 当該事業年度の末日における主要な事業活動の内容と成果

米国における新大統領就任によりTPP協定の先行きが見通せないなか、JAが将来にわたり農 業・地域を支える組織であるために、農協改革とJAグループ自己改革が求められています。当 JAにおいても一層の内部管理態勢強化に加え、自己改革の取組みと並行し、自らの経営課題を把 握して対策を講じ厳しい環境の中で組織・経営基盤の確立を図っていかなければなりません。

農業面では、主力作物である水稲の作況指数は106で、単収589kgとなり県下で最高クラスの生産 量となりました。品質的には生産者の適切な水管理等により1等比率が96.5%となりました。総じ て農産物価格は上昇傾向にあるとされるものの、農業所得は減少基調にあり、依然厳しい状況が続 くと推察されます。

このような状況にあって、組合員をはじめ皆様方のご協力を賜りながら役職員一丸となって事業 運営に邁進してきました。結果、主要事業の貯金、共済、販売事業は計画達成しましたが、貸出金、 購買事業は計画未達となりました。

また、金融機関の健全性を示すといわれています自己資本比率は、17.78%(新自己資本比率算定 方法による)となり、当JAの財務状況は健全であることを示しております。

(2) 組合員の数及びその増減

(単位:人)

ì	資	格	区	分	前	期	末	当 期	増加	当 期	月減 少	当	期	末
	個			人		5,	450		127		185		5,	392
正組合員	法	農事組合法人				36		6		_			42	
	人	その他の法人				4		_		_	4			
			計			5,	490		133		185		5,	438
准	個			人		7,	971		234		219		7,	986
准組合員	そ	- の 1	他のほ	団体			125		1		7			119
員		計 8,096		,096	235			226		8,	105			
1	合			計		13,	,586		368		411		13,	543

(3) 出資口数の数及びその増減

(単位:口)

Ì	資	格	区	分	前 期 末	当期増加	当期減少	当 期 末
_	1	固		人	1,216,645	40,091	33,905	1,222,831
正組合員	法	農事	1組合	法人	3,167	440		3,607
合昌	人	その)他の	法人	100	_	_	100
只			計		1,219,912	40,531	33,905	1,226,538
准	1	固		人	321,444	52,410	9,037	364,817
准組合員	7	その1	世の日	団 体	4,633	10	70	4,573
員	計				326,077	52,420	9,107	369,390
9	処 :	分 未	済 持	身 分	3,603	6,046	3,603	6,046
1	合			計	1,549,592	98,997	46,615	1,601,974

摘要:(1) 出資一口金額

1,000円

(2) 当期末払込済出資総額 1,601,974,000 円

(4) **職員の状況** (単位:人)

区	分	前	期	末	当	期	増	加	当	期	減	少	当	期	末
一般職	員			159				13				17			155
営 農 指 導	員			14				_				_			14
生 活 指 導	員			3				_				_			3
工場関係職	裁員			11				_				_			11
計				187				13				17			183
常傭	人			68				7				11			64
パ ー	1			17				_				_			17
計				85				7				11			81
合	計			272				20				28			264

(5) 財務・事業成績の推移

(単位:千円 ※千円未満切り捨て)

	区		分		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		事	業利	益	409,492	401,224	327,658	282,259
		経	常 利	益	470,399	461,120	387,407	336,311
財	務	当其	期 剰 余	:金	341,889	252,861	308,681	232,285
		総	資	産	128,953,437	130,986,046	133,722,432	137,747,824
		純	資	産	7,806,916	8,038,848	8,352,347	8,595,361
		貯		金	117,723,369	120,854,745	122,931,472	126,881,322
		預		金	80,765,063	85,246,045	88,609,687	93,429,488
信	用	貸	出	金	30,608,217	29,320,253	28,052,346	27,557,161
1∺	Л	有	価 証	券	5,138,543	4,051,646	3,846,875	3,835,111
			玉	債	3,638,845	2,251,928	2,147,104	2,135,288
			その	他	1,499,697	1,799,718	1,699,770	1,699,823
共	済	長期	共済保	有高	339,326,451	329,867,440	323,085,122	316,939,623
六	伊	短期共	共済新契約	掛金	480,979	499,880	496,579	501,238
購	買	購買	品供約	合 高	4,100,137	3,787,487	3,364,386	3,498,954
販	売	販売	品取抗	及高	2,774,760	2,440,308	2,648,413	2,934,130
保	管	保管	事業山	又益	47,538	45,196	43,412	45,364
利	用	利用	事業山	又益	491,883	483,577	474,644	533,928
その	他	その	他事業」	仅益	18,946	17,517	17,423	16,625
指	導	収	支 差	額	△ 17,178	△ 29,664	△ 37,666	△ 32,401

(6) 貸借対照表

資産の部

科目		金 額
(資産の部)		
1. 信 用 事 業 資	産	125,686,681
(1) 現	金	460,261
(2) 預	金	93,429,488
系 統 預	金	93,429,221
系 統 外 預	金	267
(3)有 価 証	券	3,835,111
国	債	2,135,288
地方	債	1,699,823
(4)貸 出	金	27,557,161
(5) その他の信用事業資		649,686
未 収 収	益	634,237
その他の資	産	15,449
(6)貸倒引当	金	△ 245,029
2. 共済事業資	産	9,181
(1)共 済 貸 付	金	5,653
(2)共済未収利	息	59
(3) その他の共済事業資		3,487
(4)貸倒引当	金	△ 19
3. 経済事業資	産	1,289,414
(1)受取手	形へ	2,519
(2)経済事業未収	金佐	179,159
(3)経済受託債(4)棚 卸 資	権	708,001
(4) 棚 卸 資 購 買	産品	400,881
		400,802
(5) その他の経済事業資		5,325
(6)貸 倒 引 当	全	$\triangle \qquad \qquad 6,473$
4. 雑 資	産	162,928
(1)雑 資	産	162,998
(2)貸 倒 引 当	金	△ 69
5. 固定資	産	4,447,672
(1)有 形 固 定 資		4,429,302
建	物	5,003,730
	置	2,068,026
土	地	1,420,822
		1,294,419
減価償却累計	額	△ 5,357,696
(2)無 形 固 定 資	産	18,369
6. 外 部 出	資	6,012,582
(1)外 部 出	資	6,012,582
系 統 出	資	5,871,718
系 統 外 出	資	140,864
7. 繰 延 税 金 資	産	139,363
資産の部合	†	137,747,824

負債及び純資産の部 (単位:千円 ※千円未満切り捨て)

貝債及び純貧産の部 (単位:	十円 ※千円未満切り捨て)
科目	金 額
(負債の部)	
1.信用事業負債	127,637,348
(1) 貯 金	126,881,322
(2)借 入 金	400
(3) その他の信用事業負債	755,626
未 払 費 用	325,496
その他の負債	430,130
2. 共済事業負債	450,485
(1) 共 済 借 入 金	5,653
(2)共 済 資 金	227,280
(3) 共 済 未 払 利 息	59
(4) 未経過共済付加収入	203,824
(5) その他の共済事業負債	13,667
3. 経済事業負債	207,899
(1)経済事業未払金	138,062
(2)経 済 受 託 債 務	69,834
(3) その他の経済事業負債	2
4. 雑 負 債	328,390
(1)未 払 法 人 税 等	70,500
(2) そ の 他 の 負 債	257,890
5. 諸 引 当 金	528,338
(1)賞 与 引 当 金	58,125
②退職給付引当金	431,668
③役員退職慰労引当金 負債の部合計	38,545
負債の部合計	129,152,462
(純資産の部)	
1.組合員資本	8,567,796
(1)出 資 金	1,601,974
(2)資本準備金	40,499
(3)利 益 剰 余 金	6,931,369
利益準備金	1,889,350
その他利益剰余金	5,042,019
リスク管理積立金	1,511,638
情報システム機能強化等積立金	184,720
税効果調整積立金	149,871
農林年金対策積立金	122,730
特別積立金	2,699,796
当期未処分剰余金	373,263
(うち当期剰余金)	(232,285)
(4) 処 分 未 済 持 分	△ 6,046
2. 評価・換算差額等	27,564
(1) その他有価証券評価差額金	27,564
純 資 産 の 部 合 計	8,595,361
負債及び純資産の部合計	137,747,824

(7) 損 益 計 算 書

【平成 28 年 3 月 1 日から 平成 29 年 2 月 28 日まで】

(単位:千円 ※千円未満切り捨て)

科 目 金 額 1.事業総利益 1,166,009 2,489,5 信用事業収益 322,956 843,6 供済事業収益 604,714 4 共済事業総利益 39,043 565,6 購買事業稅利益 3,678,023 616,1 販売事業稅利益 192,343 616,1 販売事業稅利益 192,343 156,5 販売事業稅利益 156,5
信用事業収益 信用事業費用 322,956 信用事業総利益 共済事業費用 39,043 共済事業機利益 購買事業収益 購買事業収益 馬費用 3,678,023 以前事業費用 3,061,900 第買事業収益 販売事業費用 35,804
信用事業費用 信用事業総利益 共済事業與益 共済事業稅利益 購買事業収益 購買事業費用 565,6 購買事業稅利益 販売事業費用 322,956 843,0 604,714 39,043 565,6 3,678,023 3,061,900 616,1
信用事業総利益 604,714 共済事業費用 39,043 共済事業総利益 565,6 購買事業費用 3,678,023 購買事業費用 3,061,900 購買事業総利益 192,343 販売事業費用 35,804
共済事業収益 604,714 共済事業総利益 39,043 共済事業総利益 3678,023 購買事業費用 3,061,900 購買事業総利益 192,343 販売事業費用 35,804
共済事業費用 39,043 共済事業総利益 565,6 購買事業費用 3,678,023 購買事業費用 3,061,900 購買事業総利益 192,343 販売事業費用 35,804
共済事業総利益 3,678,023 購買事業與用 3,061,900 購買事業総利益 616,1 販売事業與用 35,804
購買事業収益 3,678,023 購買事業費用 3,061,900 購買事業総利益 192,343 販売事業費用 35,804
購買事業費用 3,061,900 購買事業総利益 616,1 販売事業収益 192,343 販売事業費用 35,804
購買事業総利益
販売事業収益 販売事業費用 <u>192,343</u> <u>35,804</u>
販売事業費用 35,804
130.3
保管事業総利益 44,4
利 用 事 業 収 益
利 用 事 業 費 用
利 用 事 業 総 利 益
その他事業収益16,625
その他事業費用
その他事業総利益16,4
指 導 事 業 収 入
指 導 事 業 支 出
指 導 事 業 収 支 差 額 <u>△ 32,</u> 4
2. 事 業 管 理 費
人 件 費
業務費 190,278
諸 税 負 担 金
施
その他事業管理費
事 業 利 益
3. 事 業 外 収 益62,6
4. 事業外費用8,5
経 常 利 益
5. 特 別 損 失
税 引 前 当 期 利 益
法人税・住民税及び事業税
法 人 税 等 調 整 額
法 人 税 等 合 計
当 期 剰 余 金
当 期 首 繰 越 剰 余 金 114,4
情報システム機能強化等積立金取崩額 20,4
税効果調整積立金取崩額
当 期 未 処 分 剰 余 金

(8) 剰 余 金 処 分 内 訳 (第17年度)

(単位:円)

1. 当期未処分剰余金		373,263,283
2. 剰 余 金 処 分 額		262,296,083
(1) 利 益 準 備 金	50,000,000	
(2) 任 意 積 立 金	180,910,000	
(リスク管理積立金)	(80,000,000)	
(情報システム機能強化等積立金)	(60,000,000)	
(農林年金対策積立金)	(40,910,000)	
(3) 出資配当金	31,386,083	
3. 次 期 繰 越 剰 余 金		110,967,200

- (注) 1. 出資配当は年2.0%の割合である。 ただし、年度内の増資及び新規加入については日割計算をする。
 - 2. 次期繰越剰余金には営農指導、教育・生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額 20,000,000 円が含まれている。
 - 3. 任意積立金における目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額、取崩(積立) 基準等は 次の通りである。

(単位:円)

種 類 及 び 積 立 目 的	積立目標額	取り崩し基準	剰余金処分後 積 立 残 高
リスク管理積立金 右記のリスク事由にかかる損失発生への填補 に備え、JA経営の健全性を保つ。	4,136,239,741	1.預り金の損失が発生したとき 2.有価証券運用のリスク負担が生じたとき 3.貸出金等(経済未収金を含む)及び外部出資等の不良債権の償却・引当が発生したとき 4.固定資産の償却処分及び減損が生じたとき 5.退職給付債権にかかる外部積立の減損が生じたとき 6.米等の農畜産物(加工品を含む)販売業務にかかる偶発的な損失が生じたとき 7.その他(事務リスク等)農協経営に与える重大な損失が発生したとき	1,591,638,125
情報システム機能強化等積立金 今後の情報システム機能強化及び将来のシステム構築に係るコスト負担に備える。	300,000,000	1. 次期 J A S T E Mシステム更改等 のシステム機能強化等により多額 の費用が発生したとき	244,720,591
税効果調整積立金 税効果会計による繰延税金資産について、回 収時まで剰余金処分を留保するための積立金。	149,871,000	1. 繰延税金資産の減少が生じたとき	149,871,000
農林年金対策積立金 農林年金制度完了時にそれ以降の特例業務負 担金の一括費用処理が求められるので、その負 担見込額を計画的に積み立てる。	245,460,000	1. 農林年金の制度完了(一時金の強制支給による給付完了)した年度末に負担額を取り崩す	163,640,000

第18年度 事業計画の基本方針

日銀の2%のインフレ目標達成までの金融緩和政策継続のなか、マイナス金利の長期化に伴う金融機関の 収支悪化が避けられない状況となっており、JAの経営においても運用先を農林中央金庫への預け入れに依 存する傾向のため、金利低下が収支の減少を更に加速させ、ますますの難局状況となっています。

一方、米国のトランプ大統領就任によりTPPからの脱退宣言により受難は一時的に乗り越えたように見えますが、反面2国間貿易協定の締結を迫られると農業の存続に多大な影響を与えるリスクも含む不透明感とともに、政府の「JA改革」への早急な方向転換への圧力はJAグループ全体への弱体化に更なる拍車をかける厳しい状況です。

このような情勢下、本年度は第6次中期3カ年計画の2年目として、前年度までの取組み状況の検証、課題・対応策の検討・整理を踏まえ、「元気な地域農業の創造と自己改革を実践するJAいみず野」をテーマとし、

- ①「農業者の所得増大」「地域の活性化」への挑戦
- ②「農業者の所得増大」「地域の活性化」に向けた組織・事業・経営の革新
- ③ 協同組合理念の浸透と「食・農・協同組合」にかかる理解の醸成

の3つの目標の実現に向けて、農と食、地域社会の貢献に寄与することにより組合員・地域の皆様に選ばれ、 自ら変革しながら成長できるJAの実現を目指します。

1. 地域農業の振興と主穀作物・園芸作物の複合経営の定着化

- (1) 「人・農地プラン」を踏まえた「地域農業振興計画書(29~31年)」の策定と実践
- (2) 担い手経営体への総合支援による連携強化の実践(TAC)
- (3) 消費者や実需者ニーズの"いみず野米"づくりと販売・流通ネットワークづくり
- (4) JA直売所等を通じた地産地消の推進と地域の消費者との交流場の再構築
- (5) 1億円産地づくり事業(枝豆、苺)の生産拡大と加工品の開発・販路拡大
- (6) 「生産履歴記帳」と「とやまGAP規範」を遵守とした食の安全確保と地元農産物の提供
- (7) 循環型農業のバイオマス研究対策の継続(環境型もみ殻焼却灰肥料開発研究)

2. くらしに密着し貢献する事業活動の強化

- (1) J A 女性部と連携した味噌・惣菜加工販売等 6 次産業化や販路拡大への支援
- (2) 健康管理活動と高齢者福祉活動(ミニディサービス事業)への積極的展開
- (3) JA女性部との連携による「JA地域くらし戦略」の策定への取組み
- (4) 地域密着的な情報発信重視の広報活動への取組み

3. 経営基盤の強化と健全性の向上

- (1) 組合員加入促進方針の策定と実践
- (2) 経営の健全性の確保と自己資本の充実
- (3) 地域密着活動の取組み強化
 - ① 身近な支店を拠点とした地域とのつながりづくり
 - ② 年金相談・ローン相談の充実と提案型渉外活動の取組み強化
- (4) 信頼される経営管理体制づくり
 - ① コンプライアンス態勢の定着と経済事業を含む内部管理態勢への取組み強化
 - ② 活力ある職場づくりの提案・検討による効率的な人材育成への取組み

役 会だ ょ り

第 12 口 定例理事

場所

日時

平成二十九年五月二十七日出

総代会終了後より

第一号議案 第二号議案 ▽協議事項 組織体制について

理事報酬の配分について

第四号議案 第三号議案 大口貸出案件の申込について 個人情報保護に関する規程類の改廃について

以上について協議し、全議案承認されました。

報告事項 四月末実績報告について

監 以上について、報告しました。 JA財務モニタリングの県域・全国への報告について 第2四半期における余裕金運用計画 日時 午後一時平成二十九年五月二十七日出 事

【協同の力 JAいみず野概況】

(平成29年4月末日)

、要改善JA要綱・JAバンク基本方針に

基づく「経営管理資料」のうち全中および

農林中金が定める事項(事業年度末基準)

附議事項

場所

射水市小杉文化ホール ラポール 第1研修室

正組合員数 准組合員数 みなさまの貯金高 みなさまへの貸出金 長期共済保有高 購買品供給高 販売品販売高

▼附議事項▲

場所

射水市小杉文化ホール ラポール 第1研修室

平成二十九年五月二十七日出 総代会・理事会終了後より

監事報酬の配分について

5,438人 8,105人 1,255億54百万円 277億46百万円 3,166億77百万円 10億69百万円 58百万円

射水市小杉文化ホール ラポール 第1研修室 夕食弁当付

平成29年8月**3日**★~4日童

40席限定 お早めに!

40名 ※満席になり次第締め切ります。

	日程	食 事
8/3 (木)	貸切バス (バスガイドは乗務しません。添乗員同行) フィナーレまで大輪の火の華をお楽しみ下さい! (夕食お弁当) 県内指定地【高速道】長岡 C信濃川左岸(団体席) 長岡花火大会 2017 /鑑賞 11:00~12:30 15:00着 19:45/21:20 頃 長岡 C【高速道】 【パス車中 泊】	朝:× 昼:× 夕:弁当
8 / 4 (金)	【高速道】県内指定地 3:00 ~ 5:00 頃 ※大花火大会は天候により延期または中止となる場合がございます。	朝:×

各支店または JA いみず野旅行センター 富温 射水市北野 1555-1 TEL (0766) 52-02 18 業時間 午前8:30~午後5:00 □休業日 ± FAX(0766)52-0286

の代表者が玉ぐしをささげました。その後約130平方メー を願いながら田植えを行ないました。 校5年生の女子児童4名が早乙女となり、 かしく厳かに行なわれました。 -納する献穀田御田植祭(けんこくでんおたうえさい)が古式 当日は天候にも恵まれ、紅白の装束を身に纏った小杉小学 ファーム三ケ北部、三ケ土木、三ケ地域振興会の協力の「回境内西側参道横の宮原剛史さんからお借りした斎田に 水市三ケの十社大神で5月27日(土)、三重県伊勢神宮に 伊勢神宮よりいただいた「イセノヒカリ」の種もみを 行われました。 地元住民ら出席者約80 古式ゆかしく豊作

トルの斎田に早乙女が入り、苗を丁寧に植えました。 られます。 にすることも考えてお 生き物が観察できる場 れております。献穀田植しながら観察が行わ 木のみなさんと、 の子供たちといろんな の米作りと併せて地域 といわれる水草等を移 や地域振興会、 づくり委員会」 秋に収穫されたイセ 十社大神周辺の水路 4年前から小杉 「川の森 三ケ土 の生徒 絶滅

供 教

~日んぼアートに挑戦

5月28日(日)、JAいみず野青年部・女性部・ 射水市農業再生協議会の主催による「チャレンジ農 業 2017」が開催されました。

これは、農業体験などを通じて未来を担う子供た ちに農業を身近に感じてもらう事を目的としたもの で、射水市管内全域から小学校5・6年生の児童 21 名の参加申し込みがありました。

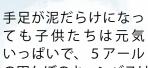
今年度は田んぼアートに挑戦します。色の違う稲 を育てると田んぼが大きなキャンバスとなり、絵が 浮かび上がります。第1回目の今回は田んぼアート の田植え作業を体験しました。

射水市川口の水田にて行われ、高木謙太郎青年部 長の開会の挨拶の後、JA指導員より説明を受けた 子供たちはおそるおそる田んぼに足を入れました。

の田んぼのキャンバスは図面通りにきれいに苗が植 えられました。

苗は武蔵野米、赤もち、てんこもり、濃紫稲など の6種類を植えました。植えたばかりはまだ全部同 じ緑色です。6月ごろから少しずつ色が変わり始め ます。成長すると射水市のイメージキャラクター「ム ズムズくん」が浮かび上がります。子供たちは「ど んな絵になるか楽しみ」と収穫が待ち遠しい様子で した。

第2回目は8月20日に、白ネギの収穫体験と田 んぼの管理を学ぶ予定です。





の神嘗祭(かんなめさ い)に奉納されます。

ノヒカリは、

伊勢神宮







小学生の

田植が行われています。毎年5月の中旬に、市内の小学校では児童による学校田の

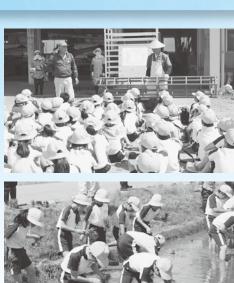
り、元気いっぱいに田植え体験を行いました。田において、ファームふたくち作業班の皆さんのご指導によさや楽しさなどを感じてもらうことを目的としています。されは、食農教育の一環として、毎日食べているお米がど

とても賑やかでした。
木製農具で田んぼにつけられた格子目を目印に、苗をれていた子供たちも次第に泥の感触を楽しめるようにれていた子供たちも次第に泥の感触を楽しめるように利したのではでいきます。はじめのうちは恐る恐る足を入手で植えていきます。はじめのうちは恐る恐る足を入手で植えていきます。はじめのうちは恐る恐る足を入事で植えていきます。はじめのうちは恐るでは、「ころがし」と呼ばれる

これからの稲の成長が待ち遠しいです。育った苗は秋に子供たちの手で刈り取られます。

















小杉小学校 5月22日(月)





14歳の排



5月8日(月~5月12日)金の一週間、射水市内 の中学2年生の生徒たちが仕事の体験を行う「14 歳の挑戦」が行われました。

「14歳の挑戦」とは中学2年生を対象に1週間 の職場体験を通して実際に働くことで働くことの 喜びや大変さ、認められたり感謝されたりするこ との喜びを味わうとともに、あいさつや言葉遣い といったマナーや社会生活におけるルールの必要 性を実感することを目的とする事業です。

当農協でもカーポート大門2名、射水育苗セン

ター1名、菜っちゃん太閤山店4名、小杉育苗セ ンターで3名の生徒の受け入れに協力させていた だきました。

育苗センターでは苗の配達、菜っちゃん太閤山 店ではレジ打ち・商品の配達、カーポート大門で はオイル交換や給油などたくさんの仕事を体験し てもらいました。

初めて働く生徒たちは戸惑いながらも一生懸命 働いてくれました。

ここでの経験が将来の役に立てば幸いです。





射水育苗センター



指します。

管理・観察され秋 小学校敷地内で水

に向けて豊作を日

えました。

このバケツ稲は、

ヒカリの成苗を植 を加えた後、コシ よくかき混ぜ肥料 らかさになるまで

小杉育苗センター



菜っちゃん太閤山店

Ħ ポート大門

いて行われました。に金山小学校と続四、16日に大門、18日間、16日に新湊、 に片口、12日に堀このほか、8日

JA職員から指導を受ける児童

ています。 校で行われました。 大切さを学び、 毎年恒例の 「バケツで稲作り」が射水市内の各小学

もと、バケツに水を入れ、床土約7㎏加えて適度な柔しました。児童たちは当農協営農指導課職員の指導の5月9日(火)には、塚原小学校の5年生35名が挑戦 収穫してお米として食べるまでの経過を身近に体験す ることができます。このことによって毎日食べる物が 小さな田んぼを作ることで、自分で植えた稲が成長し、 とうやって食卓に届くのか、そして命をいただく事の これは小学5年生を対象としており、 農業への理解を深めることを目的とし バケツの中に

にチャレンジ

●さわやかほっとサロン(大江) に参加して

さん)の3名の参加でした。 会ふれあいサロン(代表 森永 玲子 助け合い組織」により、さわやか まりいただけるようにと大江楽寿 ほっとサロンが開催されました。 ~午後2時、「JA女性部」「JA お年寄りの方々が、気軽にお集 平成29年5月9日(火)午前10時



▲小杉白石

れました。 も見学にいらして、 当日は、 射水市地域福祉課の方 活動に参加さ

を頂き午後1時まで「ひらすま 立で作られた女性部の「愛菜弁当. ガヤと楽しいひとときでした。

昼食は、地元食材を生かした献

という間に時間が過ぎました。最 手にしての体操をしたりしてあっ

「山女」に関しては全く読めず、「やれ、相談しながら回答しましたが、 字の読みを4つのグループに分か ところで脳トレにも挑戦しまし や認知症防止体操で体が温まった まんば」との回答もあり大爆笑で パーを利用したボーリングゲーム れました。また、トイレットペー 物姿とドレス姿でそれぞれ発表さ ムでは、鉛筆片手にワイワイガヤ した。次に4種の間違い探しゲー た。「竜胆」「榎茸」など50題の漢 た衣装で歌謡舞踊を艶やかな着 年度初めての活動との事で新調し ねりこグループ」のみなさんが今 オープンは、助け合い組織「と



渦でした。 ルがたまり会場は、何度も笑いの 手渡す事が遅れた人は何個もボー 右から左に手渡す事に一生懸命で ん大きな声で歌いたいのですが りと手渡ししていきます。みなさ ボール遊びをしました。一人に一 んたがたどっこさ」を歌いながら、 つのボールが手渡され、童謡の「あ 「さ」の所でボールを右回り、 午後からは、大きな輪になって 左回

川きよしの歌に合わせてボールを による民謡踊りを鑑賞したり、 「とねりこグループ」のみなさん



▲大江

手芸教室

日帰りドック

ゼリーを頂き、本当にすがすがし 後にJAの店舗に販売しています。 いたします。 い五月晴れのいい一日でした。 開催場所の募集をしています。 助け合い組織では、ほっとサロンの スタッフのみなさん本当に感謝 お問い合わせ先は、各支店窓口・本店 (小杉支部)

生産販売課 事務局 ☎52—0368

今後の行事予定

6月15日休 /月6日休 30日金 26日用 7日金 23日金 21 日 休 20日火 11 日 火 ほっとサロン(本村) 健康教室、フレッシュミズ ほっとサロン(下村白石) 女性部定例会 ほっとサロン ほっとサロン(水源町) 手芸教室 ほっとサロン (島) ほっとサロン(海老江中町) 健康教室

19日外~21日金 ほっとサロン(海老江東町 エーコープ商品講習会

助け合い組織定例会

家庭菜園青空教室に参加

も育つもの

があるこ

間の経つのも忘れるほど話が進み、問の経つのも忘れるほど話が進み、お聞きし、納得したり、安心した問に思っていること、悩みなどを問に思っていること、悩みなどを迎え、畑の野菜を見ながら日頃疑迎え、畑の野菜を見ながら日頃疑 女性部員がたくさん集まりました。る暑い日もありましたが、元気な よっては、30℃前後の夏を思わせ支部の畑で開催されました。日に がわれました。 教室が5月22 皆さんの野菜作りへの情熱がうか |が5月22日、23日、24日に各(性部主催による家庭菜園青空 開催されました。12日、23日、23日、24日

度差も大きく、 女性にとっては嬉し 管理は難しいようです。 (性にとっては嬉しい4時ごろか)水やりは朝より夕方が良く特に 今年は、 朝晚、 高温、 [温、少雨、畑の日によっての温

するもの(キュウリ・ナスなどは野菜には、水をたくさん必要と 思わず、感嘆の声。 らでもかけてもいいよと言われ、 水を好む 水をあまりやらなく

戸破地区

三ケ地区

大江地区

使い方をし、これから迎える梅雨 らすことができる事。効果のある 育てる事も大切な事と学びました。 を早め早めの対策で予防し野菜を により成長時の被害をある程度減 ウムシ、テントウムシだましなど 必要なとき適量を使うこと。 るべく薬剤を使わない作り方をし、 質問に丁寧に答えてもらえました。 畑の野菜の葉の状態を見ての話や、 となど具体例を挙げわかりやすく、 毎日食べる野菜だからこそ、 いつでもわからない時は聞いて 定植時に薬剤を使用すること ヨト

だいた指導員の方々ありがとうご 切さを学んだ一時でした。 くりをしようと改めて思いその たと思えるよう安心安全な野菜づ 族の笑顔。 ください」に嬉しくなりました。 お忙しい中いろいろ教えていた 「おいしい!」と食べてくれる家 やっぱり作ってよかっ

ざいました。 (小杉支部)

- 女性部だより

